
平成31年度 次世代ボランティア人材育成事業

2020ちばおもてなし隊トライアルステージ

－「参画」「つながり」から「人づくり」へ－

事業報告書



2020. 3

千葉県

特定非営利活動法人 生涯学習応援団ちば

目 次

はじめに－主催者あいさつ	1
千葉県環境生活部県民生活・文化課	
平成31年度次世代ボランティア人材育成事業	
「2020ちばおもてなし隊トライアルステージ」の実施結果	
I 事業の目的	2
II 事業計画	2
III 事業実施結果	4
IV 2020ちばおもてなし隊トライアルステージの推進	12
V 活動の様子	15
VI 今年度事業を振り返って	20
VII 資料・参加者の声	21
編集後記	33

【参 考】

ボランティアトライアル2019 ポスター・チラシ
フォーラム2020 ～わたしたちのおもてなし～ ポスター・チラシ
デザイン：伏見 拓さん（千葉大学法経学部3年生・学生団体おりがみ）
協 力：渡辺修一さん

はじめに - 主催者あいさつ

千葉県環境生活部 県民生活・文化課

皆さん、こんにちは。千葉県県民生活・文化課の石井と申します。

本日はようこそおいでいただきました。主催者を代表してお礼申し上げます。

さて、この「フォーラム2020わたしたちのおもてなし」は、次世代を担う若者に地域のボランティア活動などに参加し、今後のボランティア人材となっただくことを狙いとした県の「次世代ボランティア人材育成事業」の一環として「特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば」の企画運営のもと実施するものです。

早いもので、東京2020大会開催日である7月24日まで、あと160日となりました。県内では8競技が開催され、国内外から多くのお客様が千葉県を訪れます。このようなお客様を「おもてなし」するため、多くの団体が様々な取り組みを実施しているところです。

現在、県でも「都市ボランティア体験プログラム」として、都市ボランティアと共に活動してくれる中高生の年齢の方々を募集しています。興味ある方は、是非応募をお願いします。

この東京2020大会は様々なことの契機であり、県民活動においては、多くの方々がボランティアに参加することとなります。これを機にボランティアに参加した方々の活動が一過性のものになることなく、その後も継続していただきたいと考えています。

そこで本日のフォーラムでは、皆さんと一緒に「今後の活動について」考えていただくため、2020ちばおもてなし隊として高校生・大学生などの皆さんが取り組んだ様々な活動についての発表や事前キャンプ・ホストタウンの県内自治体の職員の方々に取り組みを紹介していただきます。

短い時間ではありますが、今後の活動につながるフォーラムになれば幸いです。

それでは皆さん、本日はどうか楽しく有意義な時間を過ごしてください。

(令和2年2月15日開催のフォーラムでの主催者あいさつを掲載しました)

平成31年度次世代ボランティア人材育成事業 「2020ちばおもてなし隊トライアルステージ」の実施結果

I 事業の目的

今年度はラグビーワールドカップが日本で開催され、千葉県もいくつかの都市がキャンプ地に選定された。また、2020年のオリンピック・パラリンピックを前に、県内でも国際スポーツ大会が開催された。このような機会をとらえ、高校生・大学生などが参加しやすいおもてなし活動・ボランティア活動を推進することとした。

実施に当たっては、これまでの2020ちばおもてなし隊活動の中で培われた高校生等と大学生のつながりを継続・発展させ、高校生たちの提案も踏まえ、若い世代の皆さんが活躍する場を創出し、その力を生かすことを目指した。

2020ちばおもてなし隊トライアルステージでは、多様な交流の場づくりを目指し、おもてなし隊の基本理念である「参画」と「つながり」から2020年以降のボランティア活動やボランティア人材の育成につなげることを目指した。

II 事業計画

上記Iの業務目的を達成するため以下の5事業を計画した。

1 高校生たちのボランティア・おもてなし活動の輪の拡充

SNSを活用し、高校生たちがおもてなし活動についての提案や情報の共有をする仲間の「広場（仮称）」を創り出す。この「広場（仮称）」での提案などをもとにしながら、新たなボランティア・おもてなし活動を実現し、「広場（仮称）」に参加する高校生たちの参画意識を高める。

(1) 「広場（仮称）」への参加者づくり

県内の高等学校及び特別支援学校を通じて「広場（仮称）」への参加者を募集

「広場（仮称）」ではおもてなし活動などへの提案、情報提供、情報交換などを行うほか、必要に応じてアンケート調査を実施

(2) ワークショップの開催

「広場（仮称）」に提案されたアイデアを実現するため、大学生などの協力により「広場（仮称）」参加者によるワークショップを開催

2 高校生・大学生の提案事項の実現

これまでの2020ちばおもてなし隊の活動を通じて高校生、大学生から提案のあったアイデアを実現する

(1) バリアフリーマップの作成と普及

(2) 太巻き祭り寿司によるおもてなし

(3) 成田空港での日本文化体験によるおもてなし

(4) 「やさしい日本語でコミュニケーション」及び「地震パンフレット」活用

3 おもてなし活動の実践体験機会の提供

ラグビーワールドカップの開催年であること及びオリンピック・パラリンピック開催の前年であることを踏まえたおもてなし活動の実践体験機会を提供できるよう努める。

(1) ボランティアトライアル2019（仮称）の開催

神田外語大学と連携・協力して、外国人親子、大使館関係者等に参加頂き、高校生・大学生がおもてなし活動の模擬体験その他を通じて交流し、オリンピック・パラリンピックへの機運を盛り上げる。

主な内容

- トークセッション（仮題）「在日大使館員から見た千葉の良さ」
- 参加の外国人親子と対象にした日本文化・パラスポーツ紹介
- 交流ランチ
- オリンピック・パラリンピック出場選手によるトークセッション
（仮題）「みんなで楽しもうオリンピック・パラリンピック 心のレガシーに」

(2) おもてなし活動の提案と実践

ラグビーワールドカップキャンプ地に選定された自治体（浦安市、柏市、市原市）及び国際スポーツ大会（フェンシング、ゴールボール）の主催団体等に大学生等が企画したおもてなし活動を提案する。

実施可能な場合は、「広場（仮称）」参加者及びその他の高校生たちにおもてなし活動への参加を呼び掛ける。

4 「パラコネクト」事業の普及促進

学生団体おりがみが昨年度のフォーラムで提案したパラコネクト（大学生と特別支援学校の児童生徒がみんなで考えたパラスポーツを共に体験することで交流する）に、高校生なども参加し、交流の輪を広げるよう普及促進に努める。

「広場（仮称）」参加者及びその他の高校生たちにパラコネクトの意義を紹介し、参加を呼び掛けることで参加の機会を提供する。

現在、大学生たちと交流している特別支援学校以外の学校への事業紹介 など

5 フォーラムの開催

ボランティア活動、おもてなし活動の成果などについてより多くの高校生たちが共有し、おもてなし活動などを「自分ごと」をして考え、参加するきっかけづくりや、多様な交流の場となるようフォーラムを開催する。

フォーラムは、次のような構成とする。

- おもてなし活動の実践事例発表
- テーマを設定しての大学生、高校生たちによるグループ討議
- 全体交流会

Ⅲ 事業実施結果

1 高校生たちのボランティア・おもてなし活動の輪の拡充

実施にあたり、学校関係者や大学生と協議し、令和元年10月に高校生たちの利用率が高いSNSであるLINEを活用して「おもてなし隊公式アカウント」である「おもてなし隊広場」を立ち上げ、高校生たちがおもてなし活動についての提案や情報の共有をする場を創り出すこととした。

(1) 「おもてなし隊広場」への参加者づくり

県内の高等学校を通じて「おもてなし隊広場」への参加者を募集した。

令和2年3月10日現在、関係者を除く友だち登録者は31人である。(その他関係者13人)

(2) おもてなし隊広場の主な内容

ア おもてなし活動の情報提供

おもてなし隊広場では、令和元年11月以降に予定していた成田での「日本文化体験」(令和元年11月23日)、「ボランティアトライアル2019」(令和元年12月14日)及び「フォーラム2020 ～わたしたちのおもてなし～」(令和2年2月15日)を中心に事業の紹介と参加の呼びかけを行った。

この他には、千葉県の高中生向けボランティア情報の紹介及び「パラコネクト」の紹介などを行った。

イ アンケートの実施

広場登録者には、簡単なアンケートを実施し、32人から回答をいただいた。その結果については32頁に記載の通りである。

ウ おもてなし隊の活動への参加の案内

広場登録者に2020ちばおもてなし隊の活動にスタッフとして参加することを呼び掛けた。その結果については以下の通りであった。

ア) 日本文化体験事業(成田市内)

広場登録者から4人の応募(1人は当日体調不良で欠席のため、3人参加)があり、日本文化体験「思い出のコマ」づくりで、他の大学生、高校生と共に活動に参加した。

イ) フォーラム2020 ～わたしたちのおもてなし～(千葉市内)

広場登録者から2人の応募があり、当日は、受付作業や、グループワークでのまとめ等を大学生と共にを行った。この他、フォーラムでは広場登録者の一人が自ら行っているボランティア活動の紹介を行った。

エ 広場登録者からの活動提案

広場登録者に、フォーラムで大学生やほかの高校生たちと話し合ってみたいことなどを募集した。この結果、5件の提案があり、フォーラムの中でこれらの提案に関した内容を取り上げた。

2 高校生・大学生の提案事項の実現

これまでの2020ちばおもてなし隊の活動を通じて高校生、大学生から提案のあったアイデアの実現を目指した。

(1) バリアフリーマップの作成と普及

平成29年度に行った「街の魅力・バリア点検隊」で、中心的な役割を果たしてきた昭和学院秀英中学校・高等学校の生徒たちが、その後、調査をもとに検討を重ね、バリアフリーマップ作りに取り組んできた。

本年度は、生徒たちの夏休み期間中である8月に3回、海浜幕張駅周辺を中心に29年度に行った調査箇所

等の事後調査を行うとともに、バリアフリーマップ作成に必要なデータ集めを実施した。

「フォーラム2020」では、令和2年5月の完成を予定しているマップの試作品を用いて、これまでの活動を報告した。

(2) 太巻き祭り寿司によるおもてなし

この取組みは、平成30年度に行った「おもてなしLABO」の参加者（当時中学生）からの提案事業である。その後、昨年度開催のフォーラムでの提案や高校生、大学生を交えた検討会、試行会などを経て令和元年12月14日に開催した「ボランティアトライアル2019」の会場で留学生や千葉在住の外国人を含む参加者を対象に実践した。

(3) 成田空港での日本文化体験によるおもてなし

この取組みは、平成30年度の2020ちばおもてなし隊の活動の中で「空港での歓迎イベントの研究と提言」として位置づけ、大学生が中心になって調査、検討をしたものを踏まえて実施したものである。

昨年度は、平成30年8月に成田国際空港の現地調査を大学生が実施、その結果を平成30年11月の「おもてなしLABO」で発表し、成田空港に訪れる外国人に日本文化でおもてなしを行う旨の提案を行った。

提案後、具体的な内容について、中学生、高校生と共に検討を行い、「外国人と折り紙を一緒に折り、会話をしながら日本の思い出を作ってもらおう」というコンセプトで実施することとした。

実施場所として提案した成田国際空港については、諸事情があり使用できないこととなったため、成田山の参道にある成田市の観光施設「成田観光館」で、成田山を訪れる外国人観光客を対象におもてなしを実施することとした。（本事業の企画書は22頁に掲載）

取組みの経過などは以下の通りであった。

令和元年8月28日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：中学生・高校生・大学生を含め8人が参加、前年度から検討してきた日本文化体験の具体的な内容を協議

令和元年9月16日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：成田市内で開催することとなった日本文化体験の企画案を協議

令和元年11月21日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：中学生・高校生・大学生6人が参加し、11月23日に行う日本文化体験用のボードづくりなどを実施

令和元年11月23日

場所：成田観光館

時間：10時～15時

概要：日本文化体験「思い出のコマ」づくりを実施

中学生・高校生・大学生の参加者 11人

中学生・高校生在籍校 昭和秀英中学・高校、聖徳大附属女子高校、佐原高校、富里高校
日出学園高校

外国人ゲスト 15人

中学生・高校生が事前に作成した企画書に基づき、外国人ゲストとともに折り紙を使用したコマづくりを行うほか、書道体験などでおもてなしをした。

(4)「やさしい日本語でコミュニケーション」及び「地震パンフレット」の活用

ア やさしい日本語でコミュニケーション

この事業は、県立松尾高等学校スーパー・グローバル・ハイスクールに指定されていることを踏まえ、課題研究として生徒たちが取り組んできたものである。

昨年度は、生徒たちが工夫をして、外国人が生活などに必要フレーズ40を選び、カードを作成した。これを活用して世界女子ソフトボール選手権大会で日本を訪れたイギリスチームや中国からの修学旅行生と交流を進めてきた。活動の中で、カード式だと数が多くて探すのが大変なこと、紙なので濡れると困ることなどの改善点を挙げていた。

これらの点を踏まえ、本年度は、生徒たちがスマホのアプリの開発を行った。しかし、アプリの公開に際し、手続き上の問題点等があり、広く普及するまでには至らなかった。

「フォーラム2020」で令和2年度はアプリの代わりに紙のシート方式で取り組むとの報告が行われた。

イ 地震パンフレットの活用

今年度は、特に新しい取り組みは行われなかったが、昨年度高校生たちのアイディアにより作成した地震パンフレット（英語版）を、生涯学習応援団ちばにおいて関係者やイベント参加者に配布紹介するなどの方法で活用を図った。

3 おもてなし活動の実践体験機会の提供

ラグビーワールドカップの開催年であること及びオリンピック・パラリンピック開催の前年であることを踏まえたおもてなし活動の実践体験機会を提供できるよう努めることとした。

(1) ボランティアトライアル2019の開催

【概要】

東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、ボランティアやおもてなし活動に意欲を示す高校生・大学生たちが、千葉で学ぶ留学生や千葉で生活する外国人親子等に参加いただき、千葉の良さ、日本の良さを伝える活動やパラリンピック競技種目を共に体験することを通じて、相互交流を図ることを目指して実施した。これにより参加する高校生・大学生たちに、ボランティア活動の実践体験機会を提供し、オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動、おもてなし活動への参加に向けた機運の醸成を図ることとした。この事業の特徴としては、事業実施に当たっては実行委員会方式を採用し、また、事業の企画運営に多くの大学生が参画したことがあげられる。

実施にあたり「ボランティアトライアル2019実行委員会」（委員長：明石要一生涯学習応援団ちば理事長）を立ち上げ、構成団体として生涯学習応援団ちば、神田外語大学（ボランティアセンター）、敬愛大学（地域連携センター）、学生団体おりがみ及び千葉県スポーツコンシェルジュが参加した。

また、体験事業の企画・実施について神田外語大学豊田ゼミ、敬愛大学有志及び学生団体おりがみの学生たちが力を合わせて参画するとともに、当日の運営（司会進行、会場案内、グループリーダーなど）について神田外語大学豊田ゼミの学生が担当した。

【開催日時・会場・主催者等】

開催日時	令和元年12月14日（土） 9時30分～16時
会場	神田外語大学 2号館301教室、8号館1階、アジアンレストラン「食神」
主催	千葉県
共催	神田外語大学・敬愛大学
主管	特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば

運営 ボランティアトライアル2019実行委員会

生涯学習応援団ちば・神田外語大学・敬愛大学・学生団体おりがみ
千葉県スポーツコンシェルジュ

企画協力 神田外語大学豊田ゼミ学生、学生団体おりがみ、敬愛大学学生有志

後援 ちば産学官連携プラットフォーム、ちば国際コンベンションビューロー

【プログラム】

..... 全体の司会・進行：神田外語大学豊田ゼミ学生

ア 開会行事

主催者及び実行委員会の紹介並びにプログラムの概要について説明

イ 講演「ボランティアから見たオリンピック・パラリンピック」

講師：西川千春氏

公益財団法人笹川スポーツ財団特別研究員
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ボランティア検討委員

ロンドン、ソチ、リオオリンピックで言語サービスボランティアとして参加した経験から、スポーツイベントにボランティアとしてかかわる醍醐味などについてお話しいただいた。

ウ グループワーク・ランチ

留学生を含む参加者が8つのグループに分かれ、自己紹介やオリンピック・パラリンピックにまつわるジェスチャーゲームなどで交流

ランチは会場となった「食神」の特色を生かした食事が提供

エ レッツ体験

高校生・大学生などが運営する日本文化を中心とした体験コーナー及びパラスポーツ体験コーナーを、グループごとに体験して回り、参加者同士の交流を深めるとともに、おもてなし・ボランティアの実践体験を積んだ

体験コーナーでは、参加者の募集時に高校生に体験スタッフとしての参加希望をとったところ、6人の高校生の皆さんからスタッフとしての希望があり、各コーナーに参加して頂いた

体験内容

- ポッチャ（敬愛大学有志）
- ゴールボール（学生団体おりがみ、高校生）
- おりがみ&箸置きづくり（プロジェクト結、高校生）
- 太巻き祭り寿司体験（学生団体おりがみ）
- ペン習字・年賀状作り（神田外語大学豊田ゼミ学生）
- 国旗かるた遊び（神田外語大学豊田ゼミ学生）
- 福笑い遊び（神田外語大学豊田ゼミ学生）
- #ちょいボラ体験コーナー（高校生）

*（）内は担当

オ クロージングイベント1

司会者によるインタビュー形式でグループごとに感想や今後への抱負の発表し、留学生代表からも感想を述べた

カ クロージングイベント2 スポーツ講談

出演：講談師 神田山緑氏、一龍齋貞奈氏

日本の古典芸能である講談で東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた雰囲気の高まりを図った

III 事業実施結果

初めに、神田山緑さんから講談戦隊ゴリンジャーの話しとオリパラクイズ、続いて、一龍齋貞奈さんが「扇的」、神田山緑さんが「パラリンピックのレジェンド河合純一物語」を披露

【参加者】

参加総数 131人（内訳）高校生 68人 大学生 25人 留学生・千葉在外国人 18人 その他 20人

参加した高校生の在籍校数 18校

東葉高校、八千代松陰高校、浦安高校、船橋東高校、柏の葉高校、松戸高校、専大松戸高校
中央学院高校、富里高校、大多喜高校、志学館高等部、安房高校、千葉北高校、柏井高校、稲毛高校
千葉明德高校、昭和秀英中学・高校、渋谷学園幕張高校（以上順不同）

【アンケート結果】

参加した高校生68人を対象にアンケート調査を実施

回答数 31人（45.6%）

ボランティアトライアル全体の感想について29人が「満足」、「まずまず満足」と回答

（アンケート結果の詳細、参加者の感想などは28・29頁に掲載）

(2) おもてなし活動の提案と実践

2019年度に千葉県内で開催されるスポーツイベントなどの機会を利用して、高校生たちにおもてなし活動の実践体験の場を提供することを目指した。

ラグビーワールドカップのキャンプ地である浦安市や市原市に対し、おもてなし活動の実施について協議を行ったが、日程等の都合により実施することが出来なかった。また、その他のスポーツイベントにおいても、同種の理由により実施することはできなかった。

しかし、スポーツイベント以外の国際会議やその他の機会を利用しておもてなし活動の実践体験を行った。その概要は以下の通りである。

令和元年9月16日

場所：千葉大学西千葉キャンパス

概要：千葉大学で開かれた宇宙関係の学会終了後のレセプションの場で、学生団体おりがみが学会参加者に箸置きプレゼント、折り紙のコマづくりなどのおもてなし活動を実施
箸置きプレゼントについてはプロジェクト結と事前に協議の上、実施した
夕方からの飲食を伴う会合でのおもてなし活動であったため、中学生・高校生は不参加

令和元年11月23日

場所：成田観光館

概要：日本文化体験「思い出のコマ」づくり

詳細は5頁の「(3) 成田空港での日本文化体験によるおもてなし」に記載
(本事業の企画書については報告書22頁に記載)

令和元年12月14日

場所：神田外語大学

概要：ボランティアトライアル2019 体験コーナー

詳細は6頁の「(1) ボランティアトライアルの開催」に記載

おもてなし活動に参加者は、中学生・高校生が9名、大学生が23人

4 「パラコネクト」事業の普及促進

本事業の推進のため、事業を提案している学生団体おりがみと特別支援教育経験者との意見交換を行った。

その結果を踏まえ、昨年度から学生団体おりがみが交流を続けている八日市場特別支援学校との交流を引き続き推進した。

また、パラコネクトへ参加者の輪を広げるため、特別支援教育関係者のご協力を頂き、新たな学校への接触なども始めた。

さらに、高校生などにパラコネクト事業の趣旨を理解頂くため、おもてなし隊広場での周知活動や、「フォーラム2020」での取組み紹介を行った。

今年度の経過等は以下の通りであった。

令和元年9月16日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：学生団体おりがみの「パラコネクト」担当者と特別支援教育経験者が意見交換
特別支援教育経験者から今後の進め方などについてアドバイス

令和元年9月23日

場所：八日市場特別支援学校

概要：「パラコネクト運動会」として大学生8人と同校高等部生徒が競技、踊りなどで交流

令和元年12月3日及び11日

場所：八日市場特別支援学校

概要：「パラコネクト交流会」として大学生延べ5人と同校高等部生徒が交流

令和元年12月27日

場所：千葉盲学校

概要：同校と今後パラコネクトの交流を進めるための打合せを実施

令和2年1月

概要：2020ちばおもてなし隊の公式アカウント「おもてなし隊広場」でパラコネクトを紹介

令和2年2月15日

場所：千葉県教育会館

概要：「フォーラム2020」での取組み紹介の一つとして「パラコネクト」を紹介

5 フォーラムの開催

【概要】

2020年オリンピック・パラリンピックへの関り（おもてなし、ボランティア）を考え、更に2020年後のボランティアに向けた取り組み方を考えるきっかけづくりとするため、フォーラムを開催した。

開催にあたって、フォーラムでは以下のことに留意した。

- (1) これまでのおもてなし活動などの成果・経験を参加者全体で共有し、2020年のおもてなし活動・ボランティア活動への参加のきっかけを提供し、2020年以後の取組みにも目を向けることができるよう配慮する
- (2) オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ予定自治体・ホストタウン登録自治体の関係者に高校生・大学生の活動・意欲などを理解いただく
- (3) 高校生・大学生同士や、高校生・大学生と成人参加者・自治体関係者等との交流の場とする
- (4) フォーラム運営に高校生・大学生が関わるよう努める

【プログラム】

..... 全体の司会・進行：日本大学学生 木戸さとみさん

(1) 開会行事

主催者あいさつ 千葉県環境生活部 県民生活・文化課

(2) プログラム1 事例発表

高校生、大学生の皆さんがこれまで取組んできたボランティア活動・おもてなし活動を紹介し、参加者の皆さんで情報を共有した。

事例発表内容と発表者の皆さんは以下の通りであった

ア 日本文化でおもてなし

箸置きプレゼント インタビュアーの平野さんより紹介

思い出のコマづくり 昭和学院秀英高等学校 根本大雅さん

太巻き祭り寿司でおもてなし 昭和学院秀英高等学校 遠藤なゆさん

#ちょいボラ 千葉市立稲毛高等学校 宮里優衣さん

全体インタビュー：平野華奈子さん（千葉大学3年生・学生団体おりがみ教育チーム）

イ やさしい日本語でコミュニケーション

千葉県立松尾高等学校 田井中善夫さん

ウ 成田空港周辺都市ボランティアガイドに参加して

千葉県立富里高等学校 廣瀬大地さん

エ バリアフリーマップ作りの取組み

昭和学院秀英中学校・高等学校生徒会の皆さん

(3) プログラム2 取組み事例紹介

..... 進行：千葉県スポーツコンシェルジュマネージャー 大久保利宏さん

今年のオリンピック・パラリンピックで、参加国の事前キャンプ地となり、ホストタウン登録をされている浦安市、市原市から取組みの紹介をしていただいた。

また、学生団体おりがみから、団体紹介及び「パラコネクト事業」の紹介があった。

紹介していただいた皆さんは以下の通りであった。

浦安市2020東京オリンピック・パラリンピック推進室 青木 玄さん

市原市スポーツ国際交流部スポーツ振興課

オリンピック・パラリンピック推進室 佐久間政仁さん

学生団体おりがみ 福祉チーム 岩淵汐音さん

教育チーム 河野 葵さん

(4) プログラム3 グループワーク

学生団体おりがみがグループワークの実施計画から当日の進行までを行った。

フォーラムに参加した中学生・高校生・大学生が5つのグループに分かれ、オリンピック・パラリンピック開催時にどのような外国人が日本に来て、その人たちに中学生・高校生などができるおもてなしをテーマにグループで検討した。

結果について「企画書」にまとめ、グループごとに発表した。なお、各グループの企画書は23頁以降に掲載した。

(5) プログラム4 全体交流会

..... 進行：千葉県スポーツコンシェルジュマネージャー 大久保利宏さん

交流会では、このイベントに参加した高校生、市原市のボランティアグループ「いちほら折り紙フレンドリークラブ」代表の方、浦安市、市原市、千葉県からそれぞれ発言があった。

最後に、進行役の大久保さんからグループワークでの発表についての感想・コメントを頂き、フォーラムは終了した。

【参加者】

参加総数 45人（内訳）中学生 4人 高校生 14人 大学生 12人 その他 15人

参加した高校生の在籍校 7校

昭和学院秀英中学校・高等学校、幕張総合高等学校、稲毛高等学校、東葉高等学校

日体大柏高等学校、佐原高等学校、富里高等学校

【アンケート結果】

参加者（中学生・高校生・大学生及び一般参加者）36人を対象にアンケート調査を実施

回答数 17人（47.2%）

フォーラム2020全体の感想について17人全員が「満足」、「まずまず満足」と回答

（アンケート結果の詳細、参加者の感想などは30・31頁に掲載）

IV 2020ちばおもてなし隊トライアルステージの推進

1 関係団体との協力

2020ちばおもてなし隊トライアルステージでは、これまで以上に様々な団体の皆様との協力を進めながら事業を推進した。

事業の企画や運営にあたっては、学生団体おりがみ、千葉県スポーツコンシェルジュや学校関係者などと緊密に連絡調整を図りながら取り組んだ。

また、ボランティアトライアル2019では、2020ちばおもてなし隊の活動の中で、初めて実行委員会方式の採用し、新たな協力関係作りを進めた。

その概要は以下のとおりである。

□学生団体おりがみ

学生団体おりがみの研究開発部会教育チームでは「2020ちばおもてなし隊」をチームの活動の主要な柱に位置付け、トライアルステージ全般にわたって、企画立案の段階から協力頂いた。

また、各事業推進にあたっては、中学生・高校生との連携に努め、「フォーラム2020」でのグループワークでは実施方法の提案及び高校生とともに企画案作りなどで重要な役割を果たした。

□ちば国際コンベンションビューロー 千葉県スポーツコンシェルジュ

2020ちばおもてなし隊トライアルステージ全般にわたって、企画立案の段階から、各事業に実施段階に至るまで、多方面で多大な協力をいただいた。

□ボランティアトライアル2019実行委員会参加メンバー

令和元年12月に開催した「ボランティアトライアル2019」では、実行委員会方式を採用し、生涯学習応援団ちば、神田外語大学（ボランティアセンター及び豊田ゼミ学生）、敬愛大学（地域連携センター及び学生有志）、千葉県スポーツコンシェルジュ及び学生団体おりがみが参加した。

それぞれが異なるバックグラウンドを持つ中で、ボランティアトライアル2019の準備のため、緊密に会合やメールでの意見交換を行い、実施することが出来た。

□プロジェクト結

9月に千葉大学で開催した国際会議及び成田で行った日本文化体験では、プロジェクト結で作成した箸置きを提供いただき、また、ボランティアトライアル2019ではメンバー2人もイベントに参加、箸置きづくり体験を実施した。

2 広報について

(1) 学校等への周知

ア 「いちはら×ニュージーランド ホストタウン2019」への参加依頼

令和元年7月25日付け文書で、市原市で開催されるイベントへの参加を呼び掛けた。

対象：市原市内の高等学校ボランティア活動担当者

イ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「おもてなし隊広場」への参加について

令和元年9月27日付け文書で、全校への通知に先立ち、これまでにおもてなし隊活動に参加した実績のある高等学校に対して、生徒たちの「おもてなし隊広場」への参加を要請した。

対象：おもてなし隊活動に参加実績のある高等学校ボランティア担当者

- ウ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「おもてなし隊広場」への参加について
令和元年10月16日付け文書で、「おもてなし隊広場」への参加を呼び掛けた。併せてポスター、リーフレットを配布した。
対象：県内の全高等学校
印刷部数：ポスター 600枚 リーフレット 10,000枚
- エ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「ボランティアトライアル2019」への参加について
令和元年11月14日付け文書で、「ボランティアトライアル2019」への参加を呼び掛けた。併せてポスター及びチラシを配布した。
対象：県内の全高等学校・特別支援学校、県内大学・短期大学・高等専門学校
印刷部数：ポスター 700枚 チラシ 12,000枚
- オ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」への参加について
令和2年1月20日付け文書で、フォーラム2020への参加を呼び掛けた。併せてポスター及びチラシを配布した。
対象：県内の全高等学校・特別支援学校
県内大学・短期大学・高等専門学校、県内市町村教育委員会、県内生涯学習施設（生涯学習センターなど）、県内国際交流協会など
印刷部数：ポスター 1,000枚 チラシ 15,000枚
- カ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」への参加について
令和2年1月29日付け文書で、関係高校へフォーラム2020への参加を呼び掛けた。
対象：オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地及びホストタウン登録されている自治体に所在する高等学校
- キ 2020ちばおもてなし隊トライアルステージ「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」への参加について
令和2年2月4日付け文書で、浦安市及び市原市に所在する高等学校に参加を呼び掛けた。

(2) 報道機関を通じたお知らせ

事業推進に際して、千葉県庁記者クラブを通じて報道機関へのお知らせを行った。

ア 「ボランティアトライアル2019 NIPPON体感！」について 令和元年12月6日付

イ 「フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～」の開催について 令和2年2月6日付

(3) ホームページ、フェイスブックを通じた告知

フォーラム開催前にホームページ、フェイスブック及びツイッターを活用した告知を行った。

併せて、千葉県ホームページ、千葉県公式フェイスブックページ「ちばボランティア情報局」、千葉県メールマガジン「ちばNPO・ボランティア情報マガジン」、学生団体おりがみのフェイスブックページ、千葉県スポーツコンシェルジュ「メールマガジン」などでトライアルステージの様々なイベントの紹介をして頂いた。

3 企画会議・意見交換会等について

事業の企画、事業内容の検討は、生涯学習応援団ちばメンバー、千葉県スポーツコンシェルジュ関係者、学生団体おりがみ、学校関係者、行政関係者などの皆さんとの意見交換を進めながら行ってきた。

意見交換会などの経過は以下の通り。なお、4月、5月に実施した意見交換会は、県との委託契約締結前のものである。

平成31年4月16日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：平成31年度の2020ちばおもてなし隊事業の進め方全般について意見交換

令和元年5月28日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：平成31年度・令和元年度の2020ちばおもてなし隊事業の狙い、事業項目などについて意見交換

令和元年6月24日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：平成31年度次世代ボランティア人材育成事業におもてなし隊事業が採択されたことを受け、各事業項目についての進め方を協議

令和元年9月2日

場所：神田外語大学ボランティアセンター

概要：12月に開催する「ボランティアトライアル」の基本的な進め方、概要について協議

生涯学習応援団ちば、千葉県スポーツコンシェルジュ、神田外語大学（ボランティアセンター）、敬愛大学（地域連携センター）、学生団体おりがみが集まり、今後、神田外語大学及び敬愛大学学生も交え協議を進めることで一致

令和元年9月18日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：ボランティアトライアルの事業コンセプト、キャッチコピー、事業の構成、体験コーナーの構成などについて大学生も交えて協議

令和元年10月15日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：ボランティアトライアルの推進体制（実行委員会方式等）、イベントの全体的な流れ、時間配分、今後のスケジュール、事業予算などについて協議

令和元年11月21日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：ボランティアトライアル当日のイベントの流れ、時間配分などについて最終的な確認

また、大学生を中心に、体験コーナーの実施方法・内容などについて協議

なお、イベント当日までは、メールによる意見交換などを中心に行い、開催前に、現地の最終確認、リハーサル、搬入・設営などを共同で実施した

令和2年1月27日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：フォーラム2020の全体構成、時間配分、役割分担などについて最終調整

以上のほか、個別の案件ごとに関係者と意見交換、情報交換などを進めてきた。

V 活動の様子

1 日本文化体験「思い出のコマ」づくり（令和元年11月23日 成田観光館）



手作りのボードで外国人観光客に声かけ



ゲストといっしょにコマづくり



親子連れの参加者も



手作りの歓迎ボード、玉すだれと一緒に記念撮影



書道体験の様子

2 ボランティアトライアル2019（令和元年12月14日・神田外語大学）



司会・進行役の神田外語大学学生のお二人



西川千春氏による講演



西川氏の講演を聞く参加者の皆さん



グループワークの様子



グループワーク：大学生リーダーを中心に



パラスポーツ体験：ボッチャ



パラスポーツ体験：ゴールボール



日本文化体験：おりがみ&箸置きづくり



日本文化体験：太巻き祭り寿司体験



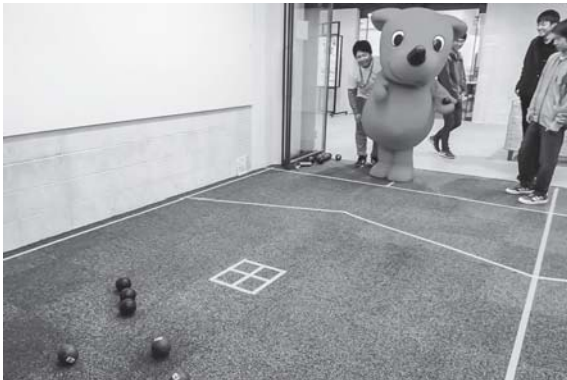
日本文化体験：ペン習字&年賀状作り



日本文化体験：国旗かるた遊び



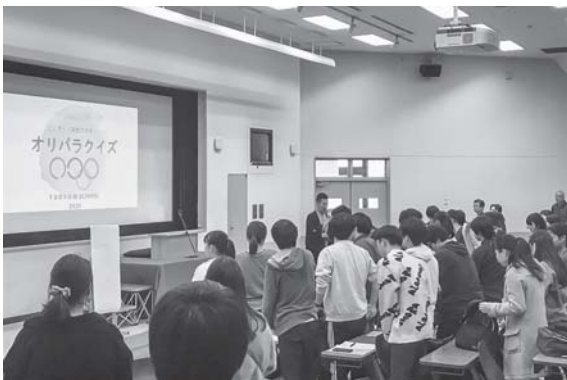
日本文化体験：福笑い遊び



チーバ君も体験に参加：ボッチャコーナーで



ボランティアトライアルの感想を発表



クロージングイベント「スポーツ講談」で
神田山緑さんからオリパラクイズ



神田山緑さんによる講談の様子
「パラリンピックのレジェンド河合純一物語」

3 フォーラム2020 ～わたしちのおもてなし～（令和2年2月15日 千葉県教育会館）



司会を務める大学生



主催者あいさつ：千葉県



事例発表を行う高校生1



事例発表を行う高校生2



事例発表を行う高校生3



自治体からの取組み紹介：浦安市、市原市



学生団体おりがみの紹介



パラコネク事業の紹介：学生団体おりがみ



グループワークの様子1



グループワークの様子2



グループワークの様子3



グループワークの様子4



市原市ボランティアグループからの取組み説明

VI 今年度事業を振り返って

フォーラム2020 ～わたしたちのおもてなし～

一歩前進した今年のフォーラム

特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば理事長 明石要一

今年度の2020ちばおもてなし隊活動の締めくくりとして2月15日に行ったフォーラム、今回もよく頑張ってくれました。ご苦労様です。

今年の特徴は自治体の事例報告があったことです。興味深い内容でした。

浦安市の報告は、昨年のラグビーワールドカップでの取り組みの経験を具体的に説明いただきました。キャンプから試合までの「おもてなし」が参考になります。自治体が本気で取り組むと効果を生むケースでした。とりわけ、担当者の意気込みが伝わってきました。とにかくフットワークがよいです。やはり「人」ですね。

また、市原市の取り組みも大変興味深い内容でした。ボランティアを通じてスポーツに親しむ、素晴らしいことです。

また、自治体に関連しての興味深い事例は、山武市にある松尾高校でした。山武市はスリランカの人が300名近く住んでいるところですよ。オリパラでは、スリランカの選手たちがキャンプします。そのようなことも念頭に入れた「やさしい日本語でコミュニケーション」という「おもてなし」の対応が具体的でした。自治体と高校のコラボができると大変ユニークなものになることでしょう。

もう1つの特徴は、昨年より中学生の参加が増えたことです。高校生たちに混じり、積極的に議論に加わっていました。事例報告では、「バリアフリーマップづくり」、「日本文化体験」、それから「太巻き祭り寿司でおもてなし」などで高校生と一緒に発表していただきました。

この「おもてなし」フォーラムで欠かせないのが、大学生たちの存在です。縁の下のファシリテーター役をしてくれたことです。司会からグループワークまでの段取りをしてくれました。時間を気にしながらの適切な運営に感心しました。

昨年の課題として「おもてなし」では千葉の魅力をどう発信するか、を提起していました。今年は一歩前進した気がします。例えば、「太巻き祭り寿司でおもてなし」は千葉へのこだわりが見られます。

今年、7月、8月にはオリンピック・パラリンピックを迎えます。皆さんの力をワンチームに結集して、世界の人たちに日本人の「おもてなし」を提供したいものです。

VII 資料・参加者の声

資料1	日本文化体験「思い出のコマ」企画書	22
資料2	フォーラム 2020 ～わたしたちのおもてなし～ グループワークで各班が作成したおもてなし活動の企画書	23
資料3	各種アンケート調査結果	
1	ボランティアトライアル参加者（高校生対象）アンケート集計結果	28
2	フォーラム 2020 ～わたしたちのおもてなし～ 参加者アンケート集計結果	30
3	おもてなし隊広場参加者アンケート集計結果	32

資料1 日本文化体験「思い出のコマ」企画書

1. 企画名	自分だけの思い出コマ
2. 考案者	学生団体おりがみ教育チーム・おもてなし隊高校生メンバー
3. 日時	11月23日 10時～16時
4. 場所	成田観光館 3階 イベント室
5. 開催目的	<p>■めあて 成田山での一期一会から始まるおもてなしが、お互いにとって一生忘れられない思い出にする。</p> <p>■ねらい 高校生へ： 成田山に来る不特定多数の外国人に対するおもてなしをすることで、より広い視野を持ち、自分の興味関心の幅を広げる機会になる。 高校生から成田山観光客へ： おりがみの楽しさを知ってほしい。 自国に帰ったあとも思い出して欲しい。 日本での思い出と折紙をしている時の会話を思い返して欲しい。 沢山の柄を準備して、選んでもらう。 例) 独楽：3枚必要。気まぐれアート独楽。 <u>また日本に来たいなー！</u> <u>和を家でも感じる。日本を印象強くする</u></p>
6. ターゲット	成田山観光客（※主に外国人向けで、日本人は来たら対応）
7. 概要 (プログラム 詳細)	<p>Q. 部屋にこんな日本があるといいな。 ・一目見て、日本！と感じたり、分かったりするもの ⇒伝統的なThe和 or 外国人が思うThe和 ・気まぐれアート独楽 →好きな色を選ぶことで親近感がわく。ただ折る行為でも思い出を掘り返すきっかけになると思う。さらに、ひと手間として色を選ぶことでワクワクを引き出すのではないかな。 ⇒ちょっとした達成感やカスタマイズのわくわく 1. The和風 2. ちょっとした達成感 3. カスタマイズ</p> <p>■流れ（時間・内容・意義） 1. 折紙を選ぶ（3枚とも選ぶ） 内容） ①日本のイメージをヒアリング ・これからすること（来た人） ・日本での思い出（帰る人） ・写真を選ぶ！⇒イメージしやすく、会話しやすく ②イメージにあう色から折紙を選ぶ ・折紙を選ぶ 1枚目：気持ち（日本への気持ちor場所に行ったときの気持ち） 2枚目：場所(行った場所、行く場所) 3枚目：模様・柄(日本イメージ)、場所の再現(周囲や空の色など) 意義) 私たち) 日本を思い出せるような色を引き出す会話 外国人) 楽しい思い出を思い出してもらおう！ ⇒目、耳、口にする(記憶させる) 2. 折紙で独楽を折る 内容) 記憶してもらおう ⇒独楽を見たときに、日本を思い出すように会話や独楽を折る</p>

資料2-1 フォーラム グループワーク企画書 1班

企画名	Easy Travel☆Enjoy Japan !
日 時	オリパラ期間中
目 的	外国人にとって日本の電車の切符の買い方がわかりづらいことを改善して、時間ロスを減らし、より楽に観光を楽しんでもらう。
ターゲットの ビフォーアフター	ビフォー 切符買えない！電車乗れない！困った！！ 行ってみたいところに行けるのかな。 アフター 切符買えた！電車乗れた！よかった！！ 行ってみたいところここにも行けそう時間通りに回れそう
実現のために 必要なもの・人	紙の印刷
企画概要	日本の電車の切符の買い方がわかりづらいことに対して、改善する <自動券売機>：システムだから学生が取り組むのは難しい… 問題点 ・画面が運賃しか表示されていない ・子ども料金が別のところにボタンがあってわかりづらい 改善方法 ・画面に路線図を表示 ・駅名検索 <パンフレット>：学生でもできそう！ →紙で説明が書かれている ・券売機の横に置いておく ・ピクトグラムや絵文字を使って直感的にわかりやすく ・7言語を使用 ・内容 路線図と券売機の場所がずれていることをいう 購入手順 使える支払方法 券売機の種類の説明 自分の好みに合った経路選択の方法

資料2-2 フォーラム グループワーク企画書 2班

企画名	ムハンマドの大冒険
日時	オリンピック当日
目的	ムハンマドさんに安心して日本を楽しんでもらう
ターゲットの ビフォーアフター	ムハンマドさん不安を解消し、日本を満喫してもらう
実現のために 必要なもの・人	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教徒用のマップを作る人（お祈り・ハラール食） ・事前に路線周辺の観光情報 ・日本についての情報がまとまった情報を知るサイト
企画概要	<p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に自分たちが相手と自分たちについて情報を得る（相手の国についての概要） ・電子媒体の地図やサイトに宗教やマナーに関することをイラストでまとめる ・SNSで情報共有のコミュニティをつくる ・大使館や外語大生・留学生にヒアリングを行う <p>【当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内 ・臨機応変な対応を！

資料2-3 フォーラム グループワーク企画書 3班

企画名	つきっきりガイド
日 時	2020年夏（試合の前後）
目 的	困ったときにいつでも日本に詳しい人に聞けて、安心感を持って日本を楽しんでもらう。
ターゲットの ビフォーアフター	ビフォー：不安 アフター：幸せ
実現のために 必要なもの・人	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語が話せて、東京に詳しい人 ・コースを説明する地図 ・翻訳機 ・交通費などのサポート
企画概要	<p>日本に来た外国人に1日つきっきりで東京をガイドする。</p> <p>以下の5つのコースから選ぶことが出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史コース 明治神宮、靖国神社 ○定番コース 浅草、スカイツリー、原宿 ○グルメコース 表参道、（和菓子、和食） ○日本文化コース （着物、風鈴づくり、歌舞伎） ○オリジナルコース お客さんの好きなコースを組むことが出来る

資料2-4 フォーラム グループワーク企画書 4班

企画名	クール・ジャパンでおもてなし
日時	オリパラ開催時期
目的	話しかけてねっていうメッセージを伝える
ターゲットの ビフォーアフター	
実現のために 必要なもの・人	
企画概要	<p>①インフォメーションセンター・人への客寄せ 魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供のほうが話しやすい ・恥ずかしいことができる課題 ・話しかけてもらった後にどうする？ <p>給水・涼みスポット やじるしとかでアピール 昔遊び 縁日 マッサージコース</p> <p>②オリンピック用のマスク開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風通しの良いマスク ・触るとひんやりマスク ・マスクでコミュニケーション ・ボランティアマスク ・めがねがくもる

資料2-5 フォーラム グループワーク企画書 5班

企画名	民泊ツアー エンジョイジャスティン
日時	開会式から一週間
目的	家族連れの観光客が日本文化を堪能する民泊ツアー
ターゲットの ビフォーアフター	オリパラが終わってからも観光施設に訪れるようになった
実現のために 必要なもの・人	地域の人の協力 観光資源の知識 日本文化体験を行う連携 フランス語の通訳者 オリパラ当日家族連れが見ることができるスペース パブリックビューイングのブース 試合グッズ
企画概要	オリパラのシーズンのときに泊れる宿がほしい 日本文化をオリパラ開催期間中におこなう 民泊のそばに日本文化の体験ができる施設があるとよい 農業体験 七五三（神社） やさしい日本語講座を民泊で 利用する車での移動 通訳必要？ 高校生も宿泊体験 千葉の野菜をPR

資料3-1 ボランティアトライアル2019参加者（高校生対象）アンケート集計結果

回答総数 31名

Q	質問内容	回答数	比率(%)
Q1	あなたの学年を教えてください。		
	1年生	10	32.3
	2年生	15	48.4
	3年生	6	19.4
Q2	参加申込みをした時に回答した参加方法はどちらでしたか。	回答数	比率(%)
	留学生たちと一緒に日本文化を体験する	25	80.6
	スタッフとして日本文化の体験を支援する	6	19.4
Q3	このイベントに参加した動機について教えてください。（複数回答可）	回答数	比率(%)
	オリンピック・パラリンピック等のボランティアに興味があった	12	38.7
	留学生など様々な人たちと交流したかった	10	32.3
	友人に誘われた	2	6.5
	先生に勧められた	15	48.4
	その他	5	16.1
Q4	ボランティアトライアル2019の全体的なご感想はどうでしょうか？	回答数	比率(%)
	満足	26	83.9
	まずまず満足	3	9.7
	やや不満	0	0.0
	不満	1	3.2
Q5	講演「ボランティアから見たオリンピック・パラリンピック」についてはどうでしたか？	回答数	比率(%)
	大変わかりやすかった	16	51.6
	よくわかった	10	32.3
	まあわかった	3	9.7
	わからなかった	0	0.0
Q6	グループワーク・ランチについてはどうでしたか？	回答数	比率(%)
	満足	25	80.6
	まずまず満足	4	12.9
	やや不満	1	3.2
	不満	0	0.0
Q7	レッツ体験 パラスポーツ&日本文化体験についてはどうでしたか？	回答数	比率(%)
	満足	28	90.3
	まずまず満足	3	9.7
	やや不満	0	0.0
	不満	0	0.0
Q9	「スポーツ講談」についてはどうでしたか？	回答数	比率(%)
	大変わかりやすかった	22	71.0
	よくわかった	3	9.7
	まあわかった	2	6.5
	わからなかった	0	0.0

Q10 本日のイベント全体を通しての感想、ご意見などがあればご記入ください。

(一部要約してあります。)

- ・貴重な経験ができてよかった。楽しかった。(同様の感想多数あり。)
- ・はじめはグループのみんなとうまく話せるか不安だったが、気が付いた時には結構話せるようになり楽しかった。
- ・留学生と日本語・英語を使って話せたので良い経験になった。
- ・普段関わることのない中国の方や大学生と話せてよかった。
- ・スポーツ講談の続きが気になった。
- ・普段経験できないスポーツをやることができたのでよかった。
- ・友達と来てグループが分かれて不安だったけれど同じ班の人と仲良くなれて、写真も撮れてよかった。
- ・今までボランティア経験が少ししかなかったのがためになった。
- ・あまり会話が得意ではないので、このような経験ができてよかった。
- ・普段できない体験ができてよかった。
- ・有意義な時間を過ごせた。
- ・これからもボランティアとして参加したいと思った。
- ・留学生と触れ合う目的で参加したが、留学生のいないグループとなり交流することが出来なかった。他のグループを見ると複数の留学生がいるグループがあったので、今後は均等になるように事前に調整してほしいと思った。
- ・最初の講演を聞いて、外国の方に声をかけられるのを待っていたが、伝えたいという意識で「May I help you?」と声をかけようと思った。
- ・スタッフとしてチーバ君コーナーを担当したが、なかなかブースに人が来ず、自分たちでお守りづくりを行ったが、初めて「ちょいボラ」という活動を知り、少しでも貢献できた気分がうれしかった。
- ・印象に残ったのは大学生の皆さんで、年齢差が特にあるわけではないのに、話し方(話の返し方)やスタッフ(グループリーダー)としての進行、行動はスムーズでカッコ良かった。今回関わらせてもらった大学生のようになりたいと強く思った。

資料3-2 フォーラム2020～わたしたちのおもてなし～参加者アンケート集計結果

令和2年2月17日現在 回答総数 17名

Q1 あなたの年代を教えてください。		回答数	比率(%)
10歳代		12	70.6
20歳代		3	17.6
30歳代		0	0.0
40歳代		0	0.0
50歳代		0	0.0
60歳代以上		2	11.8
Q2 フォーラムに参加した目的についておしえてください。(複数回答可)		回答数	比率(%)
オリンピック・パラリンピックなどのボランティアに参加したいから		5	29.4
オリンピック・パラリンピックなどのボランティア情報を知りたかった		4	23.5
様々な人たちと交流をしたかった		8	47.1
中学生・高校生・大学生の取組みなどに興味があった		9	52.9
その他		0	0.0
Q3 フォーラムに参加されて全体的な感想はどうでしょうか？		回答数	比率(%)
満足		14	82.4
まずまず満足		3	17.6
やや不満		0	0.0
不満		0	0.0
Q4 プログラム1「事例発表」についてはいかがでしたか？		回答数	比率(%)
大変わかりやすかった		13	76.5
よくわかった		3	17.6
どちらともいえない		1	5.9
わからなかった		0	0.0
Q5 プログラム2「取組み事例紹介」についてはいかがでしたか？		回答数	比率(%)
大変わかりやすかった		11	64.7
よくわかった		6	35.3
どちらともいえない		0	0.0
わからなかった		0	0.0
Q6 プログラム3「グループワーク」、同4「全体交流会」についてはいかがでしたか？		回答数	比率(%)
大変わかりやすかった		13	76.5
よくわかった		4	23.5
どちらともいえない		0	0.0
わからなかった		0	0.0

Q7 最後に、フォーラム全体を通しての感想、ご意見、ご提案などがあればご記入ください。

- ・中高生もめちゃくちゃ考えがしっかりしていて、グループワークもやりやすかった。
- ・学生団体おりがみ、浦安市、市原市の活動について発表をいただき大変良かったと思います。
- ・市原市のスポーツボランティアについてはボランティア活動を通してスポーツに親しむ、浦安市の学生ボランティアを活用している点、おりがみ（千葉大支部）、40大学について少し理解できた。
- ・同年代の人たちと交流ができてよかった。
- ・若い皆さんの熱い気持ちに触れられて大変有難うございました。コラボできればよいなと思います。
- ・今後ともいろいろなことに参加していきたい。
- ・とても勉強になりました。
- ・貴重な体験をさせていただきありがとうございました。幕総は人が多いのが強みなので、ぜひ今後もお声をかけてください。
- ・今回もグループワーク等とても楽しい時間を過ごさせていただきました！至らぬ点があったと思いますが、準備や発表に関わらせていただくことが出来たことはとても嬉しく、貴重な機会となりました。また、自分と同じ高校生の発表内容にとっても驚きました。私も頑張ろうと思えました。ありがとうございました。
- ・グループでの活動の際、大学生が的確に物事を教えてくださったり、スムーズに進めてくださり、意見も言いやすくとても楽しかったです。

資料3-3 おもてなし隊広場参加者 アンケート集計結果

令和2年2月17日現在 回答総数 32名

Q1 あなたの学校について教えてください。		回答数	比率(%)
高等学校		32	100.0
特別支援学校		0	0.0
その他		0	0.0
Q2 あなたの学校の所在地について教えてください。		回答数	比率(%)
葛南地域（市川、船橋、習志野、八千代、浦安）		9	28.1
東葛飾地域（松戸、野田、柏、流山、我孫子、鎌ヶ谷）		4	12.5
北総地域（銚子、成田、佐倉、旭、四街道、八街、印西、富里、匝瑳、印旛郡、香取郡）		7	21.9
東上総地域（茂原、東金、勝浦、山武、いすみ、大網白里、山武郡、長生郡、夷隅郡）		0	0.0
南房総地域（館山、木更津、市原、鴨川、君津、富津、袖ヶ浦、南房総、安房郡）		3	9.4
千葉市		9	28.1
Q3 あなたはボランティア活動に参加したことがありますか。		回答数	比率(%)
ある		16	50.0
ない		16	50.0
Q4 東京2020オリンピック・パラリンピックに興味がありますか。		回答数	比率(%)
興味がある		20	62.5
興味がない		2	6.3
どちらともいえない		10	31.3
Q5 あなたは2020ちばおもてなし隊について知っていましたか。		回答数	比率(%)
知っていた		6	18.8
知らなかった		26	81.3
Q6 オリンピック・パラリンピックのボランティア活動やおもてなし活動に参加したいですか。		回答数	比率(%)
参加したい		22	68.8
参加したくない		0	0.0
どちらともいえない		10	31.3

編集後記

2020ちばおもてなし隊の事業は、本年度で6年目となりました。今年度のトライアルステージでは事業実施結果に記載したような事業に取り組んできました。

今年度は、これまでのおもてなし隊のつながりや成果などを踏まえながら、若い皆さんが活躍する場をつくりだすこと、そして2020年以降のボランティア活動、ボランティア人材の育成につなげることを大きな狙いとししました。

今年度の中学生、高校生及び大学生の取組みの中で特徴的なことは、それぞれのアイデアが相互交流を目指す、対話を大事にする、という点にあります。出来上がったもの、作ったものを単に渡すのではなく、会話し一緒に考えるという若い皆さんの姿勢は素晴らしいものでした。

また、バリアフリーマップ作り、パラコネクト、やさしい日本語でコミュニケーション、地震パンフレットなどはオリンピック・パラリンピック後の若い皆さんが行うボランティア活動や共生社会を考えていく上で大切なものだと思います。

そしてもう一つ、今年度はおもてなし隊の活動の中で今までにないコラボレーションをボランティアトライアル2019で実現できたこと、この経験は企画・運営に参加して頂いた大学生の皆さんにも大きな力となったのではないのでしょうか。

最後に、今年度も多くの中学生・高校生・大学生の皆さんに2020ちばおもてなし隊の事業に参加頂きました。心より感謝いたします。

今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年です。この機会に、多くの若い皆さんがボランティア活動、おもてなし活動に参加されることを期待します。

特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば 事務局

平成31年度 次世代ボランティア人材育成事業
2020ちばおもてなし隊トライアルステージ
－「参画」「つながり」から「人づくり」へ－

事業報告書

令和2年3月9日発行

千葉県

特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば



≡ フォーラム2020 ≡

わたしたちのおもてなし

“やってみよう”を実現しよう！

／いよいよ2020！／

プログラム紹介

事例発表 発表者：高校生・大学生等予定
バリアフリーマップ作りの取り組み
やさしい日本語でコミュニケーション など

事例紹介 発表者：浦安市等予定
ラグビーW杯での取り組み
2020年に向けた取り組みの現状 など

グループ討議・全体交流会
メインテーマ
「2020年私たちのおもてなし、そしてその後へ」
各プログラムの詳細については裏面をご確認ください

開催日時 **2/15(土)** 2020年
13:30-17:00
開催場所 千葉県教育会館203会議室

参加申し込み

右記のQRコードから！

※QRコードを携帯できない場合は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。
申し込み締切：2月10日（金） 募集定員：50名（先着順）
どなたでもご参加いただけます！ 参加者募集中！



主催：千葉県、企画運営：特定非営利活動法人生活学習の未来ちば
特別協力：学生団体ありがら
お問い合わせ
メール：2020chiba.omotemashi@gmail.com
電話：090-9205-3450（事務局 直通）

会場アクセス

千葉県教育会館
千葉県中央区中央 4-13-10

伊予野川駅南口徒歩10分
千葉駅南口徒歩15分
京成千葉線千原駅徒歩10分

アクセスマップ

